

# 第75回(令和8年度)数学教育高大連絡協議会(3次案内)

主催 公益社団法人 日本数学教育学会

## 1 目的

高大接続の推進に向け高等学校と大学が互いに理解を深め合う機会とし、数学教育全般をテーマとする協議内容を通し、現在求められている資質・能力や人物像などととも数学教育の現状と課題を共有し、高等学校における学習指導の充実・改善を図る。

## 2 内容

「数学教育高大連絡協議会」では、近年SSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業等で大学側から高等学校での実践に関与していただく機会も増えてきたことから、高等学校と大学の数学教育全般をテーマとする。具体的な協議内容として、以下のような項目を設定する。これらの趣旨に沿った資料集も用意する。

- ① 各大学のアドミッション・ポリシーや入試制度
- ② 高等学校教育を中心とする教育改革(学習指導要領改訂等)
- ③ 高等学校の数学教育に期待すること
- ④ 大学入学者の最近の様子、大学生に求められる資質・能力
- ⑤ その他、高等学校・大学の数学教育に関わること

今回のパネルディスカッションでは次のようなテーマを考えています。

「高大接続における数学的に考える資質・能力の育成—数学の学び方を問い直す—」  
大学における数学学習の困難性を事例で提示していただき、高校からも指導の実践例を示す。それを踏まえ数学の学びで何が大切か明確にし、多様な入試・教科書・授業等についてもどうあるべきか議論したい。

3 日時 令和8年5月31日(日) 9:00~16:00

## 4 会場

学習院創立百周年記念会館 (JR 山手線目白駅下車3分)

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 学習院大学内

※本会場および敷地内で、許可のない営業活動や宣伝活動等を固く禁止します。

※会場にWi-Fiは用意されておりません。オンラインによる配信はありません。

## 5 参加費

日本数学教育学会員:2,000円、一般:4,000円。いずれも消費税、資料集代(PDF版)を含みます。団体会員(学校等が会員)の場合は、代表者1名が会員扱いとなります。

印刷された冊子の資料集が必要な方、冊子の資料集のみが必要な方は別途1,500円で販売いたします(送料、消費税込)。

インフルエンザ、新型コロナウイルスの感染拡大や自然災害等により実施できなかった場合にも、参加費は返却できないことをご理解いただいた上で参加申込みをしてください。障がい等の理由で当日、お手伝い等が必要な方は、事務局まで遠慮なくご連絡ください。

## 6 申込み

事前申込み制になっております。当日の申込みは受け付けません。申込みの際に誓約書と所属長の承認を提出していただきます。提出されない場合は参加できません。申込み方法は日本数学教育学会ホームページにてお知らせします。申込みの締め切りは5月21日(木)です。決済完了次第、当日の受付に使用するQRコードをお送りします。

参加にあたって会場内で撮影・録音等は固くお断りします。

各大学に対するご質問等は申込みの際に受け付けます(5月7日(木)締め切り)。

## 7 時程(予定)

9:00~	開場
9:30~9:35	諸注意
9:35~9:40	開会挨拶
9:40~11:55	午前の部 各大学の発表
11:55~12:55	昼休み
12:55~13:00	諸注意
13:00~14:30	午後の部 パネルディスカッション
14:40~14:45	全体講演 講師紹介
14:45~15:55	全体講演
15:55~16:00	閉会挨拶

### 参加大学

東京理科大学	理学部第一部応用数学科	教授 鍋島 克輔 先生
一橋大学	大学院経営管理研究科	教授 小林 健太 先生
京都大学	大学院理学研究科	教授 加藤 毅 先生
東京大学	カブリ数物連携宇宙研究機構	教授 伊藤由佳理先生
学習院大学	理学部数学科	教授 岡本 久 先生
日本大学	文理学部	教授 市原 一裕 先生
慶應義塾大学	理工学部数理科学科	教授 坂内 健一 先生
全体講演	実践女子大学 人間社会学部	教授 竹内光悦 先生

「統計教育はどう変わってきたか、どこへ向かうのか

—高大接続と生成AI時代を見据えて—」

### 問い合わせ先

〒171-0031 豊島区目白4-23-15

公益社団法人 日本数学教育学会

TEL 03-5988-9872 FAX 03-5988-9873

ホームページ <https://www.sme.or.jp/> e-mail [info@sme.or.jp](mailto:info@sme.or.jp)